

日本地球電気磁気学会会報 (第5号)

1963年3月15日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生町3

東京大学理学部地球物理学教室内

電話(812)2111 内線6476

振替 東京 4860番

次期委員長選挙結果：会報第4号でお知らせしました通りの手順により、去る3月11日(月)15時に、東京大学理学部地球物理学教室講義室において、会員8名立会の下に次期委員長選挙の開票を行いました。その結果は下記の通りです。

投票総数 82票

得票内訳(敬称略) 前田憲一 26票, 加藤愛雄 19票,

田村雄一 7票, 力武常次 7票, 吉松隆三郎 4票,

今道周一 3票, 関戸弥太郎 2票, 太田征次郎 2票,

長谷川万吉, 金原 淳, 上田弘之, 畑中武夫, 中田美明,

福島 直, 各1票

無効票 6票(永田 武 5票, 白票 1)

以上の結果により、次期学会委員長を前田憲一現評議員にお願いすることになりましたことをここにお知らせ致します。

次期評議員及び運営委員選挙：次期(昭和38・39年度)委員長選挙がすみましたので、引続いて評議員10名及び運営委員10名の改選を致します。

学会規約によりますと、評議員は本学会賞の審査、他学会賞および奨励金などの受賞者の推薦、重要案件に関する運営委員会への助言を行い、一方運営委員は庶務会計、学会誌の刊行、渉外、講演会、学会連合事務などの会務を分担して行います。

評議員・運営委員の改選に際しましては、先号の会報で御約束致しました通り、最新の会員名簿をここにお配りして御参考に供します。この名簿は、

(2)

3月11日現在の記録によっています。

投票用紙は返信用封筒の中に入れてあります。投票用紙には会員名簿に記載してある会員名を全く同じように配列してあり、推薦される会員に適当な印をつけていただく方式になっています。評議員・運営委員とも任期は2ヶ年ですが、重任は妨げないことになっています(前田憲一現評議員は次期委員長になりますので、今回の投票で前田憲一会員に対しての票は無効となります。永田武現委員長に対する票は有効票です)。また同一人を評議員・運営委員の両方に推薦されても差支えありません。指定投票用紙以外の用紙を用いた投票は無効です。投票者の記名は不要です。多くの会員の方々の投票をまとめて1枚の封筒で送付されても差支えありません。

開票は昭和38年3月30日(土)12時より、東京大学理学部地球物理学教室講義室において行いますから、多くの会員の方々の御立会をお願い致したいと思います。会員の皆様方の御投票をお待ちしております。開票時以後に到着した投票は無効と致します。

第33回講演会及び総会日程

開催日程及び会場を次のように致します。多数の会員の方々の参加を期待しております。なお次回講演会における特殊企画はまだ考慮中ではありますが、一般講演申込を下記の通り受付いたすことにさせていただきます。

会 期 1963年5月13日(月), 14日(火), 15日(水) 3日間
(懇親会は15日夕刻を予定しています)

会 場 東京大学医学部新館講堂

各会員からの講演申込締切は 4月10日(水) 当日消印有効

講演要旨提出締切は 4月30日(火) 必着のこと

講演申込・要旨提出先は 東京大学理学部地球物理学教室 福島 直

講演申込・講演要旨提出に際しては、同封の用紙を御使用下さい。講演プログラムは皆様の御手許に4月末に届くように努力いたします。

追加講演の取扱いについて : 近年は学会における講演数が非常に多くなりましたので、追加講演申込は次のような特殊な場合に限り、大会委員長の許可を受けて認められることに致します。

- (i) 講演申込締切日以降に起った重要現象に関する速報。
- (ii) J.G.G.誌に投稿する原稿が既に完成しており、投稿規定により学会での発表を急ぐ場合。
- (iii) 大会委員長が緊急なものと認めたとき。

田中館賞候補論文推薦および総会における議題提案をされたい方々は、本学会現委員長(東京大学理学部地球物理学教室 永田 武)宛に、適当な様式の書面にて、昭和38年4月10日(水)までに御提出下さるようお願い致します。春季総会までの会務は現役員が行なうことになっていきますことを申し添えます。

後 記 : 日本地球電気磁気学会会報には、会員各位からの消息も掲載して、会員相互の連絡の便にも供したいと思っておりますので、表記学会事務所あてに御投稿下さることを期待しております。